

## 5 学校関係者評価委員による評価・意見及びそれらを踏まえた学校の対応

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切)

大項目	評価項目	評価項目 各自評価 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応等	
I 教育理念・教育的	1 学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	3.20	3.25	教育理念や教育目的等については、入学時に配布する学校要覧に掲載し、年度当初に行うオリエンテーション、個別面談等を実施し、学生の理解を深めている。保護者(保証人含む、以下同じ)には、毎年学校案内を送付するほか、入学式や保護者会等の場を利用して理解を深めている。また、ホームページによる情報発信などにも努めており、概ね適切と評価した。	ホームページ等でわかりやすく説明されており、適切である。教育目的については学生や保護者、関係業界に向けて学校要覧への掲載、オリエンテーション、保護者会やホームページなど様々な機会を通して周知されており、昨年度より職員評価、学生アンケートでの情報提供についての項目はやや劣るが概ね適切であると思われる。実習の頻度においても評価時等でも同様に学生達への説明を加えながら続けて欲しい。学校の特色や教育理念などは明確に要覧に記載されている。オンラインネットを活用してできる情報発信に努められており、自己評価の適切は妥当だといえる。	概ね適切であるとの評価でしたが、昨年度より職員がやや劣るとの意見もいただきました。今後も教育理念等について、学生や保護者等によりわかりやすく、理解を深めていく取り組みを継続してまいります。また、学生からの相談や要望に対してはなお、一層学生に寄り添った対応をしていきます。ホームページによる情報発信についてもタイムリーな情報提供ができるよう努力していきます。	
		2 教育目標・育人人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.30				
	II 学校運営	1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.20	2.93	教育理念等に基づき教育計画を策定し、学校運営の課題等については、職員会議及び教務会等で情報を共有し、対応方針等を確認しながら課題解決に当たっており、概ね適切と評価された。しかしながら、情報システム化等による業務効率化や教育活動の情報公開については、昨年度に引き継ぎと評価し、全体で前年度よりも評価を下げる結果となっており、さらなる改善に努めていきたい。	教育理念等に基づき教育計画を策定し、学校運営の課題等については、職員会議等で情報を共有し、対応方針等を確認しながら課題解決に当たっており、適切である。運営方針や事業計画については会議等活用し、課題と連携が対処することが出来ており、適切である。情報公開や情報システム化などによる業務の効率化に関しては引き続き、対策を検討し、取り組みを進めたい。	運営方針や事業計画については、適切であるとの評価でしたが、情報公開や情報システム化などによる業務の効率化に関しては引き続き、対策を検討すべきとの意見もいただきました。ホームページを活用した情報提供については、校内で検討し改善に努めて行くとともに、業務の効率化についても閉校までの残る期間の中で必要なものを挙げて継続して取り組んでいきます。
			2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.10			
3 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか。			2.90				
	4 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.50					

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切)

大項目	評価項目	評価項目 毎自己評 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応等
生涯教育活動	A (目標の設定等)	3.30	3.33	<p>教育理念に基づき教育課程を編成し、各科目のねらい・授業内容・実習の内容・カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。</p>	<p>○教育理念に基づき教育課程を編成し、各科目のねらい・授業内容・実習の内容・カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。また、カリキュラム体系を明確にしている。</p>	<p>「目標の設定」、「教育方法・評価等」、「資格試験」及び「教職員のすべて」の項目において適切であるとの評価をいただきました。閉校までの残り期間も同様な評価をいただけるよう努めていきます。</p>
	1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.30				
	2 教育理念、育成人材像を踏まえ、健康到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.30				
	B (教育方法・評価等)	3.23				
	1 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.30				
2 関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.40					
3 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.00					
C (資格試験)	3.50					
1 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.50					
D (教職員)	3.30					
1 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3.30					
2 関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力養成など、質向上のための取組が行われているか。	3.30					
IV 学修成果			3.60	<p>令和4年度卒業生は、全員の就職先を確定することができ、また、国家試験合格率も95.2%であった。また、各学年ともに、留年者を出さず、進級及び卒業することができ、適切と評価した。退学率の低減に向けた対応については、学生ごとに担当教員を決め、きめ細やかに相談・支援を行っている。また、令和4年度においても、退学者は発生してはいたものの、退学者の事情は様々で、それぞれに合わせた相談支援の結果、学生自身が選択したものである。</p>	<p>○令和4年度卒業生は、全員の就職先を確定し、国家試験合格率も95.2%であり、適切である。また、各学年ともに、留年者を出さず、進級及び卒業することができ、適切と評価した。退学率の低減に向けた対応については、学生ごとに担当教員を決め、きめ細やかに相談・支援を行っている。また、令和4年度においても、退学者は発生してはいたものの、退学者の事情は様々で、それぞれに合わせた相談支援の結果、学生自身が選択したものである。</p>	<p>国家試験合格率及び卒業生全員の就職内定について、適切との評価をいただきました。引き続き、学生一人ひとりの実情に合わせたきめ細やかな指導及び支援に努め、学生全員の国家試験合格及び進路実現を目指してまいります。令和3年度よりも改善したことは、細やかな相談・支援の成果としての評価いただきました。今後ともスクールカウンセラー等とも連携し、学生の進路実現に向け、対応してまいります。</p>

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4: 適切)		3: (ほぼ適切) 2: (やや不適切) 1: (不適切)				
自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4: 適切) V学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.70	3.47	学生への進路・就職については、個別相談などにより支援を行っている。また、生活や学習上の悩み等については、教員が個別面談を行うほか、スクールカウンセラーによる相談も実施した。特に指導の必要な学生については保護者との情報共有を図り、保護者等と連携し指導することにより、成績の改善につなげた。また、学生アンケートにおいても、「学生指導」については、高評価を得ている。これらのことから、全体として適切と評価した。	○学生への進路・就職については、個別相談などにより支援を行っている。また、生活や学習上の悩み等については、教員が個別面談を行うほか、スクールカウンセラーによる相談も実施した。特に指導の必要な学生については保護者との情報共有を図り、保護者等と連携し指導することにより、成績の改善につなげた。また、学生アンケートにおいても、「学生指導」については、高評価を得ている。これらのことから、全体として適切と評価した。	適切であるとの評価をいただきました。引き続き学生個々の実情に合わせた相談・支援を行っていきます。
	2 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.50				
	3 保護者と適切に連携しているか。	3.20				
V教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2.70	2.70	施設整備については、予算を確保し、教育活動に影響を及ぼさないよう随時対応しているが、現在の施設は建設から30年以上経過し、修繕箇所は増加傾向にある。また、男子トイレの増設やICT機器の充実を求める声もあるが、令和5年度末に、閉校を予定していることから大規模修繕や設備の増設や新設は難しい状況にある。このため、評価点が低い要因になっていると推察される。今後も、学習環境に配慮しないよう適宜修繕等を行い施設の適正管理に努めていく。	○現状で教育活動に影響を及ぼさないよう随時対応しており、適切である。 ○教育環境については施設・設備は老朽化しており、修繕など制限があることから限界があるが、安全に留意した対応を引き続き行っていた。また、安全に非行を防止するための措置は、施設の建設から年数が経っていることや、閉校が決まっていることから、予算が確保しにくい状況である。そのため整備は難しい状態にあるため、適切と評価しにくい。	現状で教育活動に影響を及ぼさないよう随時対応しており適切であるとの意見をいただいた一方、閉校まで整備は困難な状況下であり適切と評価しにくいとの意見もいただきました。閉校までの間、学習環境に影響しないよう施設の適正管理に努めていきます。
V法令の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 4 自己評価結果を公開しているか。	3.70 3.80 3.40 3.40	3.58	法令及び看護師養成施設設置基準等を遵守し運営されており、適切と評価した。しかしながら、自己評価の問題点の改善について、さらなる改善に努めていきたい。	○法令及び看護師養成施設設置基準等を遵守して運営されており、適切である。 ○今年度も継続していった。また、個人情報保護の観点から、更なる改善に努められている。	適切であるとの評価をいただきました。閉校まで、随時改善に努めながら適切な学校運営に努めていきます。